

TOP page

資料室

イベント情報

講師を探す

Worker's 広場

関連リンク

資料室


[HOME](#) | [資料室](#) | [一般教養](#) | [経営全般](#) | [世界で一番古い株式会社](#)

労働組合

労働者福祉・共済

一般教養

[社会保障](#)
[労使トラブル法律相談Q&A](#)
[労働関係法](#)
[経営全般](#)
[人間関係とコミュニケーション](#)
[ライフプラン](#)
[男女共同参画](#)
[公務員関係法](#)
[日朝の歴史](#)
[7つの習慣](#)
[中東の歴史](#)
[ボランティア活動](#)
[環境活動](#)
[社会貢献活動](#)
[自己啓発](#)
[生涯学習](#)
[外交・防衛問題](#)
[資本論](#)

世界で一番古い株式会社

世界で初めての株式会社は、1602年にオランダでつくられた「東インド会社」です。日本では徳川家康が江戸幕府を開く1年前のことでした。

そのころヨーロッパでは、スペインとイギリスとオランダの3国が張り合っていました。3国ともアフリカ大陸の南を回ってインドや東南アジアへ進出。胡椒をはじめアジアの珍しいものを持ち帰って、大きな利益をあげていました。（冷蔵庫がなかった当時は、肉が腐るのを防ぐため胡椒はとても大切なものだったのです）

しかし木造の船でアジアまで航海するのは、とても危険な旅でした。いい船をつくり、優秀な乗組員を集めるのにはお金がかかります。そこでオランダでは、金持ちの商人からお金を集め、会社という組織をつくったのです。お金を出した人たちは、「東インド会社」の株主になりました。会社はそのお金を使って、大きな船をつくり、アジアから品物をどんどん運んできます。それを売って儲けが出ると、それを株主に分けるのです。これを配当といいます。すなわち株式会社の目的は、できるだけ大きな利益をあげること。株主は配当を目当てに、お金を出したのです。

今の株式会社でも、この考え方はほとんど変わっていません。しかし同時に、会社は世の中のためになる仕事をしています。このことを忘れて、ただ利益をあげることしか考えなくなると、社会的存在意義を失います。

資料に関する解説やサイト内ブックマーク、簡単なクイズもできる無料会員登録のお申し込みはこちらになります。

Worker's Library 会員登録

お申し込みはこちらです。

>>> [一覧へ戻る](#)

[教育カリキュラム](#)

[日本国憲法](#)

[傾聴](#)

[語り部スキル](#)

[▶ キーワード検索はこちら](#)

[▶ サイトマップ](#) [▶ このサイトについて](#) [▶ 個人情報保護の取組みについて](#)

[▶ ページTOPへ](#)

[TOP page](#)

[資料室](#)

[イベント情報](#)

[講師を探す](#)

[Worker's広場](#)

[関連リンク](#)

Worker's Library 静岡で働く人のための資料閲覧サイト
JAPANESE TRADE UNION COFEDERATION DB SITE **【ワーカーズ・ライブラリー】**

Copyright© WORKER'S LIBRARY All rights reserved.